

特集

はじめよう。図書活

図書館には、豊富な情報の蓄積がある。蔵書には、各種統計も含まれる。また、高価な商用データベースや新聞・雑誌の記事検索などビジネスに必要な情報も多くある。そして、膨大な情報の中から必要な情報を探して、つなぐコンシェルジュ的な役割を担うのが、図書館司書。こうした、ニーズに合わせた資料・情報の提供機能を「レファレンスサービス」と呼ぶ。最近では、全国の公共図書館の多くがハードとソフト、そしてレファレンスサービスによって地域の起業家や中小企業等を支援するビジネス支援サービスを活発に展開している。単館で日本最大の蔵書数を誇る大阪府立中央図書館と、ビジネス・郷土資料に強い中之島図書館府立の両館では、「図書館で出来ることを知ってほしい」と様々な取り組みを通して発信している。今回のムーブディスカッションでは、知っているビジネスに役立つ図書館の活用法＝図書活を特集する。

情報探索のプロ、
司書によるビジネスサポート、
『レファレンスサービス』って？

大阪府立図書館は、府立中央図書館と府立中之島図書館の2館。

公共図書館で単館としては日本最大、270万冊以上の蔵書数を誇る中央図書館は総合図書館として、また 111年の歴史を誇る中之島図書館は、大阪、古典籍及びビジネス関係資料を提供する図書館として、相互に連携しサービスを展開している。

起業や新分野への進出などビジネスでの新たな動きには、情報収集作業が伴う。図書館では、館内設置のパソコンにより、利用者は新聞や市場調査など歴史的かつ膨大なデータベースの閲覧や検索が可能で、有料で複写サービスもある。一方、膨大な情報の中から、自力でスピーディーに必要な情報やデータに行き着くのはなかなか難しい。そんな時、お勧めしたいのが情報探索のプロである司書による情報探索サポート『レファレンスサービス』だ。図書館の各階カウンターにいる司書に「こんな資料や情報がほしい」と相談すると参考図書やデータを探索し提供してくれるサービス。要望をくみ取りながら利用者がほしい情報を絞り込み、図書館にある本・雑誌・新聞・データベースやインターネットで入手できる情報等、さまざまな情報源の中から利用者ひとりひとりのニーズに合わせた情報を探し出してくれるものだ。相談する時のコツについて中央図書館 調査相談課の西尾恵一氏に聞いた。「概要でいいのか、特定の内容についてピンポイントで詳しい内容が必要なのかなどを教えていただくとスピーディーにお調べできます。仕事で使われたい場合はお急ぎのことも多いので、いつまでに回答が必要かもお伝えいただけるとできる限り要望にお応えするようにしています。事前にご自分で調査されている場合はその内容をお伝えいただくとかぶらない資料やデータを探します」もし情報が見つからない場合は違う切り口の提案を行う。見たい図書等が館にない場合は、各都道府県の公共図書館、大学図書館、国立国会図書館などのネットワークを通じて取り寄せもしてくれるという。

「利用者満足度は良好。1回ご利用いただくとリピーターになっていただける。しかし周知度はまだまだです。発信を強化し、多くの利用者ニーズに応えていきたい」と司書の想いは熱い。



中央図書館内大会議室

司書は情報の専門家。

利用者ひとりひとりのニーズにあった情報を探し出し、結びつけるノウハウを持っています。図のような調査相談を「レファレンスサービス」と言います。

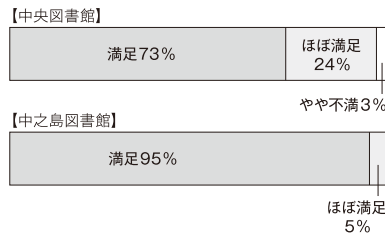


インターネットから質問を申し込み、電子メールで回答を受け取っていただけるサービス「e-レファレンスサービス」もある。郵送での複写物の受け取りも可能。(複写サービス代・郵送料・手数料等実費) ※詳しくは各図書館のホームページで確認を。

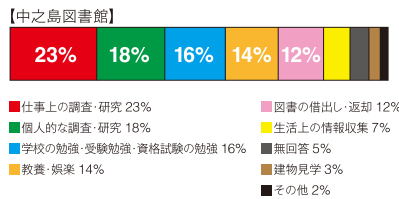
図書館利用者アンケート

(中央図書館・中之島図書館 HPより)

Q. 調査相談で得た回答に満足いただけましたか？



Q. 本日のご来館の主な目的は何ですか？



大阪府立図書館紹介



大阪府立中央図書館

ADD：東大阪市荒本北 1-2-1
TEL：06 6745 0170
URL：http://www.library.pref.osaka.jp/site/central/



大阪府立中之島図書館

ADD：大阪市北区中之島 1-2-10
TEL：06 6203 0474
URL：https://www.library.pref.osaka.jp/site/nakato/



【中央図書館地下書庫と運搬用三輪自転車】

地下書庫は広く、三輪自転車を使用して本を運搬し、利用者へ提供している。また、府内の図書館に貸出も行うので、職員は地下書庫を常に忙しく動いている。そんな様子を見れる地下書庫の見学ツアーは人気がある。



【中央図書館データベース検索用パソコン】

利用者が使用できるデータベース検索用のパソコン。館内はバリアフリー化されており、快適な空間での利用ができる。